



# みんなの町議会



明けましておめでとうございます

西野八幡神社より森山を望む

## 目次

12月定例会の概要 .....	2
審議内容 人事案件 .....	3
一般質問 (3名) .....	4～6
議員研修報告・広報研修報告 .....	7
常任委員会の焦点 .....	8～9
臨時会 .....	10
全員協議会 .....	11
請願・陳情 .....	12
あれなんとなつたべが! .....	13
議会を傍聴しました・がんばってます・編集後記 .....	14



小玉 美津さん (高崎字里下36)

## 地域雇用創造事業が終了 解雇者7名の再就職を支援

### 議会の概要

12月6日から10日までの5日間で開会

生活交通バス運行条例の一部を改正する条例制定案、「五城目朝市ふれあい館」設置条例案、22年度一般会計補正予算など15件、人事案件3件、陳情9件。

初日の本会議では議員研修

報告の後、渡邊町長は行政報告で、湖東総合病院の入院病床が休止されていることに関し「医師確保に努力する」と述べた。また国の委託費を着服したことで中止となった地域雇用創造事業については「事業は終了し、国への精算報告に向けて事務作業を行っている。解雇となった7名に対して再就職できるよう支援していく」とした。

町政の進展を質す一般質問者は3名。一般質問の後、各



常任委員会に付託された議案の審査を行い、最終日は委員長報告の後、22年度一般会計補正予算案など14件を全会一致で可決した。

「五城目朝市ふれあい館」設置条例案は継続審査とした。

た。

人権擁護委員の推薦案に同意、教育委員2人の任命案に同意、陳情5件を採択、3件を継続審査、1件を不採択とした。

議員提出議案「EPA交涉及び緊急需給調整対策に関する意見書」など5件を可決し閉会した。

(伊藤正春)

年頭のあいさつ

風雪に耐え、春を呼ぼう



議長  
荒川正己

あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、つつがなく新年を迎えられましたことに、心からお慶びを申し上げます。また、日頃から議会活動に対しご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。厚く感謝申し上げます。

昨年、大きな喜びとしたのは、町民の長年の願いでありました五城目第一中学校の校舎改築事業が、五年間という歳月を費やし見事に完成したことであります。「森山仰ぐ、光と風と緑の学び舎」の設計理念により、広ヶ野の大地に翼を広げ、大きく羽ばたこうとする姿をあらわしております。

一方、湖東病院改築の問題は、医師の退職に歯止めがかけられず、救急や入院の休止など町民の願いとはかけ離れた形で推移しております。財政のみで解決できない難問であります。「住民の福祉向上」が私どもに課せられた責務であり、今後も真摯に対応して参ります。

また、全国的に議会改革への動きが顕著化する中、町民の皆様からご意見やご要望を頂戴し、より開かれた議会を目指して参ります。

今年は卯年。夢と希望のあふれる五城目町の実現に跳躍できますように、皆様の今後ますますのご繁栄を心から祈念し、年頭の挨拶と致します。

# 「五城目朝市ふれあい館」設置条例案は 継続審査に



朝市ふれあい館は国のまちづくり交付金事業で平成18年度から事業着手し、朝市通りのにぎわい創出と活性化を目指し建設が進められている。

建物は完成し朝市開催日にはトイレの使用を認め利用者の利便性を図っている。

現在は駐車場など外構工事を行い4月の供用開始に向けて準備を進めている。

全体事業費は3億1千545万5千円である。

設置条例案は産業建設常任委員会に付託され外構工事の進捗状況や私有地にある赤レンガ倉庫の状況、樹木、家屋解体後の対応などの確認のため現地視察をした。

審査では「指定管理を前提としているが町直営も視野に入れてなかったか」「収入は計画通り見込めるのか」「赤レンガ倉庫の保存と活用について

は、全体の景観に留意し、利用者と近隣に危険

が及ばないように安全対策に配慮するべき」などの質疑があり、条例案の文言を一部修正して委員会としては全会一致で「可決すべきもの」として決した。

本会議では「議決は土地の賃貸契約を締結してからすべきだ」などの意見が出され、産業建設委員会を再度、開会した。

駐車場などがある683平方メートルは私有地。これまで所有者の意向に沿って整備を進め、町では賃貸契約の前提となる覚書を交わしている。

委員会としては「町民の不利益とならないよう配慮しつつ、慎重審査の必要がある」として継続審査とした。当局には4月1日オープンに向けて所有者との契約を早急に進めるべきと指摘した。

(伊藤 正春)

人権擁護委員の  
推薦に同意



児玉 昇氏(61歳)  
小池字岡本下台78番地

教育委員会委員の  
任命に同意



佐藤 一義氏(68歳)  
馬場目字中村117番地



宮田 聡子氏(49歳)  
字七倉157番地4

## 町長の政治感覚は 町民と共有できるのか



館岡 隆  
(新世紀クラブ)

### 国内外の政治情況 (尖閣、北朝鮮、北方領土、TPP) への現内閣の対応 について

#### 全国首長アンケート

館岡 全国首長アンケートに米軍基地訓練の受け入れの是非について、県知事、秋田市長、八郎潟町長、上小阿仁村長は要請があれば検討すると

答えている。町長はどう答え  
たか。

町長 検討の意志はない。

#### 道州制について

館岡 道州制についてのアンケートは、5市2村の県内の首長は賛成して、井川町長、五城目町長は反対している。秋田県の経済界のトップ渡辺靖彦県商工会議所連合会会長は、賛成の立場をとっている。町長は何を考えて反対したのか。

町長 地域格差を生ずるので反対する。

#### 国内外の政治情況 について

館岡 尖閣での中国漁船の衝突事件、北朝鮮の韓国への武力挑発、ロシア大統領の北方領土への上陸、TPPに対する現政権の対応について。町長の政治感覚は。

町長 外交政策を戦略的、効率的に行っていたらきたいと願望する者の一人である。

#### 湖東病院の経過と 今後の方針

館岡 昨年の3月から病院が

ら「医師が消える」として危機を訴えてきた。地元の開業医と連携して(ドクターネット)勤務医の負担を軽くすべきとしてきた。今回示された「湖東地区医療再編計画」は実現性はあるのか。厚生連で実行できるか。県の15億の助成と、地元町村の負担でいろんな方法が考えられる。4カ町村の首長はもっと主体的に行動すべきである。

町長 地域の医療ニーズに対応するため内科医を確保し入院病棟の再開を目指したい。



対応の悪さを指摘するマスコミ報道

#### 職員による不正横領 に對しての処理に法的 根拠は

館岡 19、20、21年の横領された分について返却されたが、22年度分についてはないのか。本人に負担させるとし

た金額は、決定したのか。  
町長 22年分についても労働局の特別監査の結果不正がないと確信した。精算に伴う加算金、22万円余り、国からの委託料終了後の支払い額122万円、合計145万円を返還している。今後職員一丸となって信頼回復のため全力で頑張る。

館岡 町長は9月議会で、町費で対応すると答弁している。免職になった本人が横領した金額以上に、「加算金、事業終了後の支払いをする」と法的根拠があるのか、今後も見守っていく。

この他に

○町長が就任して6年、人口は1千200人も減少している。誕生した子供は年間45人平均。ますます人口減少、高齢化の傾向に何一つ歯止めがかからない。

町民は経済的にも厳しい。町長の姿勢からはこの現状を絶体に変えるという強い意志が感じられない。「無気力な答弁」に終始している。トップリーダーとして自覚をもって執行せよ。と、活性化について

質問しました。

# 一般質問

## 郷土が誇る先人の顕彰

### 町長 先人顕彰事業として取り組む



館岡 幸雄  
(公明党)

**館岡** 各界で活躍し、郷土の誇りとする方々に「ふるさと大賞」を授与しその功績を讃え宣揚した時期があった。

ゲーテ研究の第一人者であり、ドイツ語辞典を著した、木村謹治先生、女流文学者の矢田津世子女士、宮沢賢治研究の第一人者であり、実践女子大の前学長分銅淳作先生、日本画の館岡栗山画伯、秋田追分の生みの親、鳥井森鈴氏などです。

現存する著作や作品の整理や展示、維持管理は充分か。

**町長** 先人の著作や作品などを集約して展示する先人記念館はなく、社会教育施設や五城館などを利用しての現状だ。

資料の整理保存のため、データベース化を進め、先人顕彰事業として取り組む。

## 伝統文化、芸術への支援

### 町長 伝統文化を町全体で支援

**館岡** 町の歴史、文化を正しく認識することは、現在を再考察し、未来を正しく切り開く有効な手段となる。伝統文化、芸術への支援をどのようなか。

**町長** 貴重な文化財を次代に残すことは我々の責務と考える。番楽、内川ささらなど伝

統文化の保護を特色あるまちづくりと捉え、財政面の支援を含め尽力していく。

**教育長** 後継者対策は、少子高齢化の中、課題はあるが継承への努力をしたい。芸文協への支援、未加入団体の発表の機会の拡大に取り組む。



郷土が誇る先人、木村謹治博士生誕の地

## 「子ども議会」の開催=子どもの視点を町づくりに活かす=

### 町長 開催へむけ検討する

**館岡** 子どもたちの作文や標語に接し、その視点や感性に驚かされる。町の課題や現状を将来を担う子どもたちに正しく認識してもらい、夢や希望を提言して頂くことを目的に、「子ども議会」の開催を提案する。

**町長** 「子ども議会」の開催は、まちづくりに対する斬新なアイデアや、行政、議会制度への関心や理解も期待できる。開催へむけ、関係機関との

協議、調査など検討する。

# 一般質問

## 湖東病院が大変な事態！ 秋田市への通院バス・救急車の増車を

**町長**

### 医師確保に全力をあげ、入院や救急再開に努力する



石川 交三  
(日本共産党)

**石川** 秋田市の病院への入院・通院が増えている。通院のためのバス運行、救急車の増車が必要だ。

**町長** 病棟休止により転院は29名。3月の入院患者数は141人で退院や亡くなった方を差し引いてもかなりの方が転院している。通院のバス運行が必要となる場合があるかもしれないが、現段階では医師確保に全力で取り組む。

救急車の増車は職員の数や救急救命士の配置、広域化の関係などから問題があり、湖東消防との連携で凌いでいる。

**石川** 救急車が出動中に救急通報があり、湖東消防も出動中で対応が遅れた事案があったと聞くがどうか。

**消防長** 当町消防隊が出動中で湖東消防で



救急車の増車を

も応援出動ができない状況下にあった。家族に説明し、帰署途上にあつた消防隊に連絡して現場に直行させ、対応する選択をした。

**石川** 助かるものも助からない事態発生が懸念される。増車の検討は緊喫の課題だ。また、医療機能を維持していくために交代でも医師確保して「つないで」いくべきだ。

**町長** 病棟再開には内科医が3から4人必要で、厚生連病院グループ内の勤務医への要請もし、医師確保の有無に関わらず「再編計画」を進め来年度の事業計画に調査費を計上すると伺っている。



リフォームで街に活況を

### TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)のわが町農業への影響は

**町長** 約7億9千800万円  
円で89%減少する

**石川** TPPに対しての町長の考え方、姿勢を問う。

**町長** 関税撤廃により海外農産物が無秩序に流入し、国内農産物、生産現場への悪影響は計り知れない。第一次産業の将来展望が持てる国策と「強い農業生産」確立の上で、国民的合意形成を図るべきだ。

**石川** 国連総会決議「食料に対する権利」で「食料主権」が明記されている。TPPは世界の流れに逆行している。

**町長** 国策として食料の安全保障と自給の確立を目指す農業生産に取り組み、諸外国との貿易ルールの確立が必要だ。

### 住宅リフォーム助成制度を 継続しよう！

**町長**

### 活性化の一助となるよう努力する

**石川** リフォーム助成は爆発的な工事費の増と大きな経済波及効果をあげている。事業の継続と助成率アップを求めたい。

**町長** 受付件数が128件、事業費が2億5千万円で補助金額が913万円となり、新たに追加補正を計上した。県も継続予定であり、今年度と同様に県事業に嵩上げて努力していく。助成率アップは不公平感が生じることから今年度と同様としたい。

**石川** 申請手続きの簡素化を。

**建設課長** 精査し、使い勝手の良いように今後検討したい。

この他に  
○国民健康保険の広域化  
について  
質問しました。

# 議員研修報告

10月26・27日の2日間にわたり、議会の活性化と議場のインターネット放送。木材の有効活用と秋田杉チップによる木質バイオマス発電。森林資源の素材生産から製材製品生産までについて視察研修をした。参加議員14名、随員職員1名の計15名。

第1日目は、議会活動と活性化について、岩手県滝沢村議会を訪問し、研修する。

◎住民と議会議員との懇談会と議会報告の取り組みについて。

◎インターネット中継と議場放送のシステム化について。



議場のインターネット放送視察

滝沢村議会の活性化へ取り組む姿勢は大変参考になるものであり、今後の五城目町議会の活性化に大きな指標となるものと思います。



木質バイオマス発電工場視察

第2日目は、仙北市農林部

農山村活性化課高橋参事、議事事務局の田口さんの案内で、秋田杉バイオマスエネルギーセンター工場を視察研修する。

工場は最新の技術を集めたもので、秋田杉チップを高温で、可燃性ガス（一酸化炭素・水素等）を生成して、炭を作り、可燃性ガスでエンジン発電機を運転し、電気と熱と木炭灰の三種類を生産する（トリ・ジェネレーション・システム）ものである。発電は最大300kw、通常270kw発電し、一般家庭600軒に

送電能力があり、余った電気は売電する計画である。熱と電気は隣接する温泉施設「にしき園」と「クリオン」に送られる。

「木炭灰」は良質な土壌改良剤として1kg30円（一袋）で販売し活用されている。

環境に優しく地球温暖化防止にも寄与するものであり、今後我が町でも森林資源の高度利用について大きな指針となるものと思われました。

次に県内で一番の素材生産と原木消費製材している生保内の堀川林業を視察する。

当社は大型機械化により、年間素材生産4万m<sup>3</sup>と原木消費量2万m<sup>3</sup>、秋田杉の安定的な供給を図り、製材工場も大型製材自動機械を導入し、生産コストの低減や、労力の軽減も図りながら、森林管理、



製材工場を視察

原木生産、製材製品の安定的な市場への供給と流通を図る一元化をめざしている。堀川社長の「他より安く、良いものは、売れないわけがない」という熱意に感動した。一方製材業界の厳しい現実を改め

## 美郷町議会 広報特別委員 会に視察研修

11月8日、澤田石副議長、広報編集委員全員、伊藤議事事務局長と9名で美郷町議会を訪問しました。

昨年4月に発行した「みさと議会だより・第19号」が県内で初めて全国議会広報コンクールで優秀賞を獲得したので、編集方針や紙面の構成など先進事例を学ぶ目的で、美郷町広報特別委員との交流も兼ね研修した。

編集委員主体の編集で条例、予算などの議案内容、本会議、委員会での質疑内容など議会の活動状況を町民にわかりやすく、見出し、

て認識した研修となった。今回の議員研修を通して、研修の成果を今後の町政と議会の活性化に反映できるように願っております。

（伊藤 英紀）

リード記事、町民参加のページなど写真を活用した議会広報ならではの内容は参考になりました。

町民には議会の動きを的確にお伝えできるよう研修の成果を生かした紙面づくりに取り組みたいと思います。

（伊藤 正春）



美郷町議会広報研修

こんなことが審議されました

# 総務 常任委員会

## 予約式乗合タクシー 4月から本運行へ

路線名	登録料 (2,000円分の乗車券)	登録者数 (日々多くなっている)	1日当り 延利用者	予約による 運行回数
富津内線	2,000円	157人	13人	5往復
馬場目線	2,000円	283人	23人	5往復

◆拠点施設（乗降場所）も増えております。

町内会各集会所、赤倉山荘、富津内地区公民館、小倉温泉、イオン、わしや歯科、役場、五城目高校、湖東病院、ダイサン、JA五城目支所、ごじょうめ眼科、五城館、笹尾医院、町民センター、あったか五城目事務所、千葉内科医院



富津内線乗合タクシー

富津内線のバス路線が廃止後、五城目町地域公共交通協議会が昨年4月から実施中の富津内地区デマンド型乗合タクシーの実証運行が、新年度から町が管理運営を行う運行になります。

委員 馬場目線と比較して運行形態や料金はどのようなになっているのか。  
まちづくり課長 基本的には同様だ。  
委員 運行形態としてどこにでも止まる事は問題とかが検討すべきでないか。  
町民生活に支障を来すことなく、業界に悪影響を与えない

委員 現委託業者は町内2事業所であるが、4月からは委  
いようにし、住民の意見、要望を聴くべきだ。  
まちづくり課長 予約式乗合タクシーの運行は、公共交通の空白域の解消と経費節減であり、利用者のアンケート、座談会などの要望を受けて総合的に検討中である。

託経費縮減のために競争入札すべきではないのか。  
まちづくり課長 町内2タクシー事業所と秋田中央トランスポート社の3社で競争入札をして決定している。  
委員 隣の町のように無料バスの運行は考えられないのか。  
まちづくり課長 9人乗りジャンボタクシーは、以前の路線バス利用者を参考にしたもので、利用者増となればバス運行の選択肢も考えられる。

(小林 正志)

### 営農維持緊急支援資金に利子補給

作付面積に対して「水稲収量激減に伴う農家支援交付金」を交付したが、転作作物も被害を受けていることから交付すべきと指摘した。

天候不順と高温障害によりコメの作況指数が93と6年ぶりの不良である。  
県では農家の支援策として「営農維持緊急支援資金」を創設し、利子補給の債務負担行為を設定した。  
町負担分として0・587%、453万4千円である。  
23年1月から実質0・5%資金として貸付実行される。  
委員からは、町単独の支援策として水稲

こんなことが審議されました

# 産業建設 常任委員会



こんなことが審議されました

# 教育民生 常任委員会

## 町立大川保育園を、 社会福祉法人五城目保育園へ無償譲与



五城目保育園が運営することになった大川保育園

平成23年4月1日付で、町立大川保育園を、社会福祉法人五城目保育園（理事長、原田啓蔵）へ無償譲与することになる。

町立から法人へ運営形態が変わることにより、国、県からの措置費が入り、保育時間の延長や、0歳児保育への対応が可能となる。

無償譲与される建物の基準額は、1億6千742万円。収容品は、818万7千円である。

## クリーンセンター (し尿終末処理場)が老朽化 広域対応へ移行か

昭和63年から稼働しているクリーンセンターの老朽化がすすみ、修繕費、維持管理費が増加傾向にある。

建設当時、最先端技術の導入ともはやされた、「限界ろ過幕方式」もすでに過去のものとなりつつあり、将来は広域での処理体制へ移行せざるをえない。

## 介護保険は、 公助、共助、 自助の時代へ

介護保険実施後、3年毎に見直しが実施され今に至っているが、保険料が県内で、男鹿市に次いで2番目に高いことや、高齢化の急速な進展と過疎化によって、制度の維持が困難になることから、抜本的な見直しが必要とした。

即ち、介護保険による公助地域コミュニティによる共助、家庭での自助であり、それぞれ保険を適用させることにより、限界にきている施設収容型から脱却できるものがある。

(館岡 幸雄)

## 小倉地区水道設 置条例を制定

小倉地区の水道工事がこのほど完成し、設置条例が制定された。

戸数15戸、給水人口38人の小倉地区の水道が整備されたことからこれまで水が出なくなるなどの不安、不便が解消される。

事業費は6千34万9千円。供用開始は23年1月1日である。

(伊藤 正春)



小倉地区への配水ポンプ場

# 第6回 臨時会

11月15日

TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）の参加に反対する意見書を全会一致で可決。

議会運営委員会でTPPへ

## 環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）の 参加に反対する意見書

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への交渉参加問題が急浮上し、去る11月9日、政府はTPPを含めた経済連携協定についての基本方針を閣議決定した。

これに対して全国の農家や関係団体などから、「協定参加の前提となる協議に入ることは、日本の農業を根本から崩壊させる恐れがあるもので、交渉参加に反対」の声があがっている。

自国の食料と雇用を犠牲にしての極端な自由貿易偏重は国民多数の利益と相容れないものであり、農林業を重要な産業基盤として位置付けて、町づくりを計ろうとする当町にとっても、TPP参加は認められないものである。

食料問題は、一国の主権に関わる課題であり、国民のために食料生産を最優先し、輸入規制や価格保障などを行うことは食料政策の根本である。

TPPは、例外品目なしの100%の自由貿易化をめざすものであり、これが実施され関税が撤廃されれば、農水省の試算でも農産物生産額が年間4兆1千億円減少、供給熱量での食料自給率も現在の約40%から14%へ低下、農業の多面的機能の損失額は3兆7千億円、農業関連産業を含めた国民総生産額が年間7兆9千億円減少し、340万人の雇用が失われる試算とされている。

TPPへの参加は、農業所得の減少によって地域産業や雇用にも重大な悪影響をもたらすものであり、疲弊している地方経済を直視すれば、参加は認められないものである。

よって、国においては、TPPに参加することのないよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

秋田県五城目町議会

議長 荒川正己

の議会としての対応を協議。「議会意思を早めに表明したほうが良い」との意見の一致を見て、運営委員長を提出者として議員全員が賛成者となり、本会議に上程、可決した。

TPPへの参加は、日本の農業を根本から崩壊させる恐れがあり、農林業を重要な基幹産業としている本町にとっても、地域産業や雇用にも悪影響をもたらすものと危惧されることから、意見書を総理大臣はじめ関係大臣に送付した。

### 意見書送付先

内閣総理大臣 菅 直人  
外務大臣 前原 誠司  
農林水産大臣 鹿野 道彦  
経済産業大臣 大畠 章宏

馬場目・富津内・内川地区  
通信設備（光ファイバー）  
整備事業を変更契約。

# 第5回 臨時会

10月25日

内川小倉に建設する資源ごみ選別施設（ストックヤード）の工事請負契約締結案を可決。

当初の契約額に対して13%の減額となった。ケープル資材単価が業者との交渉で10%低くなったこと、電柱の建替えや支線の設置が発生率0・4%に抑えられたこと、心線数を低くおさえる施工ができたことなどによる。

事業実施の財源は地方債の借り入れを低く抑えて、ほとんどを公共投資臨時交付金などができ、財政的にも非常に有利な事業となった。

契約の方法は指名競争入札で契約金額は4千305万円。竣工は23年3月18日、契約の相手方は三和興行株式会社代表取締役 武田 鋭彦

建物の建設工事であり、外構工事は後日発注となる。一斉清掃やクリーンアップ、不

# 第7回 臨時会

11月26日

一般職の給与条例改正案を可決。

法投棄物などの収集したごみの中から資源ごみを選別して、八郎湖周辺クリーンセンターへ搬出するまで一時的に保管する。大型バスの乗り入れもでき「ほたるツアー」などでの利用も可能。議会からは「公衆トイレ」設置の意見が出された。

人事院勧告が出され、勧告どおり閣議決定されたことから、町として民間給与の実情を職員の給与水準に適切に反映する必要があることから条例を改正するもの。一般職の期末手当を0・15ヵ月分引き下げ、40歳以上の月給を0・1%、55歳以上の幹部職員は1%の引き下げとなる。町長など特別職と議会議員の期末手当も0・15ヵ月分の引き下げとなった。これにより平成22年度の人件費は1千万円近い圧縮となった。

（石川 交三）

# 議会全員協議会

11月10日

## 湖東地区医療再編計画の

### 成案が示される

9月7日開催の全員協議会に報告された「計画骨子案」と大きな差異のない計画が報告された。  
病院の特性・病床規模・診療科・将来の目指すべき方向については前号（104号）に掲載済みのため、今回は町民の関心の高い「救急機能」と「医師確保対策」について計画の全文を掲載する。

## 救急機能

● 男鹿南秋地域の救急搬送の受入は、これまで地区内の3つの病院と秋田組合総合病院において主に担ってきた。

● 湖東総合病院が救急機能を担わない場合、湖東総合病院と藤原記念病院との距離が約19km、秋田組合総合病院との距離が約24kmであることから、救急搬送時間が平均20〜30分程度長くなるものと考えられる。

● 人口3万人程度で市内に救急告示病院のない、にか

ほ市においては、現場から病院までの搬送に30分以上を要した事例が35・9%あり、五城目消防の17・1%、湖東消防の9・6%に比べ大幅に上回っている。

● にかほ市から地域の中核的な病院である由利組合総合病院までの距離が、仁賀保地区で約20km、象潟地区で約32kmあることから、湖東総合病院の救急受入がなくなった場合、にかほ地区と同水準まで救急搬送時間は悪化するものと思われる。

● 一方で救急告示病院の機能を果たすためには、24時



医師確保が急務

間の受け入れ態勢と外科の受け入れ態勢が必須となり、一定数の医師の確保と外科医師の確保が必要となる。  
● 重症患者については、現実的に秋田組合総合病院が相当程度の受入をしていることから、秋田組合総合病院との機能分担の上で、医師の確保が図られる場合には、救急告示病院の機能を担うことが望ましいが、それに至らずとも、可能な範囲で一定の救急機能を担うことが望ましい。

## 医師確保対策

● 病院開設者、地元4町村、地域住民団体及び県で構成する「湖東総合病院の医師確保対策を推進する協議会」を中心に、地域に縁のある医師の情報収集と招へい活動を積極的に推進する。

● 秋田大学に対し、常勤医師の配置を引き続き要請するとともに、医師が不足している診療科については、医師派遣型寄付講座を活用した医師派遣を行う。

● 比較的医師が充足されている医療機関に対し、地域勤務手当の活用による非常勤医師の診療支援を要請する。

● 秋田大学と県が共同で、総合的な診療能力を高める

医師の養成プログラムを開発し、湖東総合病院を協力医療機関のひとつとして位置づけることを検討する。

### その他の協議案件

● 水稲収量激減に伴う農家支援について

### 報告案件

● 地域雇用創造協議会及び秋田県緊急雇用創出臨時対策基金事業観光バリアフリー推進事業について

● 大川保育園の民営化について

● 光ファイバー整備工事に係る工事請負変更契約の締結について

# 議会全員協議会

10月25日

## 協議案件

● 五城目町地域雇用創造協議会委託事業に係る特別監査結果への対応について



(石川 交三)

# 請願・陳情

陳情

**採択**  
◆EPA交渉及び緊急需給調整対策などに関する陳情書について

あきた湖東農業協同組合  
代表理事組合長 舘岡 誠一  
あきた湖東農協農政対策本部  
本部長 舘岡 誠一

**採択**  
◆大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書

秋田県医療労働組合連合会  
執行委員長 中村 秀也

**採択**  
◆雇用と生活をまもる施策強化を求める陳情

秋田県労働組合総連合会  
議長 佐々木 章

**採択**  
◆最低保障年金制度の制定を求める意見書の採択を求める陳情

全日本年金者組合秋田県本部  
湖東支部 支部長 土橋 茂

**採択**  
◆高齢者の生活に見合う年金引き上げを求める意見書の採択を求める陳情

全日本年金者組合秋田県本部  
湖東支部 支部長 土橋 茂

**継続**  
◆米軍への「思いやり予算」廃止の意見書採択を求める陳情

安保破棄諸要求貫徹秋田県実行委員会  
事務局長 中田 博

**継続**  
◆後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書を求める陳情

全日本年金者組合秋田県本部  
湖東支部 支部長 土橋 茂

**継続**  
◆辺野古への新基地建設、米軍訓練の全国への移転拡充を約束した「日米合意」の撤回を政府に求める意見書について

秋田県平和委員会  
理事長 風間 幸蔵

**不採択**  
◆学校薬剤師報酬改善に関する陳情書

秋田県学校薬剤師会  
会長 佐々木吉幸  
秋田中央学校薬剤師会  
会長 近藤 広樹

## 意見書提出

五城目町議会の意見書を  
各関係機関に送付しました。

提出先

内閣総理大臣 菅 直人  
厚生労働大臣 細川 律夫  
経済産業大臣 大島 章宏

看護師などの大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書

提案理由

看護師などの大幅増員を実現し、安全でゆきとどいた医療・看護・介護の拡充を求めらる。

提出先

内閣総理大臣 菅 直人  
厚生労働大臣 細川 律夫  
財務大臣 野田 佳彦  
文部科学大臣 高木 義明  
総務大臣 片山 善博  
秋田県知事 佐竹 敬久

最低保障年金制度の制定を求める意見書

提案理由

高齢化がすすむなかで、無年金者や低年金者はますます増えており、生活保護受給者をふくめ、これらの人々に憲法で保障された最低生活を保障することを求める。

提出先

内閣総理大臣 菅 直人  
厚生労働大臣 細川 律夫

年金引き上げを求める意見書

提案理由

憲法で保障された最低生活を保障し、無年金、低年金者が生きる希望の持てる生活を送ることを求める。

提出先

内閣総理大臣 菅 直人  
厚生労働大臣 細川 律夫  
財務大臣 野田 佳彦

EPA交渉及び緊急需給調整対策などに関する意見書

提案理由

戸別所得保障制度の本格実施など農政の転換期を迎えるなか、政府は、農業・農村の実情や農業者の声を踏まえ、農業者が希望を持てる政策の実施を求める。

提出先

内閣総理大臣 菅 直人  
内閣官房長官 仙石 由人  
外務大臣 前原 誠司  
農林水産大臣 鹿野 道彦  
経済産業大臣 大島 章宏

(佐藤 重信)

# あれなんとなつたべが!



今回は平成21年12月定例会での一般質問への対応がその後どうなったのかを報告します。

**問** 全町植樹祭の開催を。

**答** 五城目第一中学校の竣工記念として記念植樹を計画している。

**現在** 11月3日に竣工記念事業として、記念植樹を実施。

全町植樹祭は、平成16年に開催して以来休止している。



**問** 広域体育館トレーニング室の整備と芝生広場などへの夜間照明を。

**答** 施設や体育器具の充実へは優先順位をつけ取り組む。

**現在** トレーニング器具の設置は平成23年度に実施予定。

夜間照明については、ニーズが少なく、経緯を見守りたい。

**問** 加工だまこもちと菜種油を特産品として商品化できないか。

**答** 平成20年から3カ年計画で地域ブランド商品開発事業で研究中。

**現在** 加工だまことして、鶏挽肉などを入れた「いかさまだまこ」を試作。試食会を繰り返して商品化へすすんでいる。

菜種油は、特産品の開発には至っていない。

**問** 独居世帯、高齢者世帯への「火災報知器」を無償設置すべきだ。

**答** 設置状況の調査結果を基に対応したい。

**現在** 町内在住の満65歳以上の1人暮らし、又は高齢者のみの世帯へ、11月15日までに申請のあった世帯に住宅用火災警報器を一世帯に1個、無償給付を実施。

以上、11月15日までに申請のあった世帯に住宅用火災警報器を一世帯に1個、無償給付を実施。



平成22年11月末で全面休床となった湖東総合病院

**問** 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の普及へむけ、「希望カード」を配布してはどうか。

**答** 「患者用希望カード」の配布を検討する。

**現在** 平成22年9月、保険証更新時に、国保全世帯に、「ジェネリック医薬品希望カード」を配布し普及に努めている。

**問** 湖東総合病院の実態はどうなっているか。

**答** 構成4カ町村の共通課題として署名活動を展開し、知事と厚生連に陳情する。

**現在** 平成22年11月末で内科医師1名が退職し、12月から全面休床となっている。現在の常勤医師は、内科、産婦人科、脳神経外科、整形外科、眼科それぞれ1名の計5名。外来診療料は、常勤医師の診療科のほか、消化器内科、耳鼻咽喉科、循環器科、小児科、泌尿器科、皮膚科、心療内科（精神科）があり、1日あたりの外来患者数は、430人ほどになっている。

平成22年11月末で全面休床となった湖東総合病院

# 議会を傍聴しました

## みんなの町議会



秋田信用金庫五城目支店  
支店長  
菊地 孝浩さん

役場庁舎が現在地に新築移転した年、当時得意先係だった私は、誰もいない真新しい議場を見学した事を印象深く覚えております。

平成21年7月から再び五城目支店勤務となり、当町でお世話になっていく金融機関として、リアルタイムで町の現状を確認出来る議会傍聴は、貴重な勉強時間でありませう。

また、議会だより「みんなの町議会」は、開かれた議会を強く意識した内容で、担当議員の方々の熱意が伝わってくる五城目町ならではの企画を毎回楽しみに拝見しております。

ただ残念なのは議会傍聴者が非常に少ないことです。自分が支持した町長さん、議員さんなどのような考えを持って町政運営にあたっていいのか、お友達同士で「ちょっとと議会さいつてみるが：。」こんな気軽な感覚で、たとえ年に一回でも傍聴の機会をつくってみたら如何でしょうか。議会傍聴リピーターが増えていくことは、いい意味での町民と町政の相互牽制であり、必ずプラスに機能するはずですし、それがまさしく「みんなの町議会」であると確信します。

## がんばってます



五城目町 建設課  
児玉有希絵さん

役場では2年間臨時職員として働かせてもらっていましたが、採用試験を経て、今年度から正職員として仕事をしていくことになりました。

アルバイトと正職員では求められる責任や、やるべき仕事も大きく異なり、それを目の当たりにした4月当初は大変プレッシャーに感じたというのが正直な感想です。

何度も失敗をし、ときに町民の方にもご迷惑をおかけしてしまうこともあり、大変申し訳ない思いでしたが、その度に町民の皆様や先輩・上司よりご指導をいただき、それらの経験により少しずつ学んでいくことができました。そうした積み重ねにより、ようやく落ち着いて仕事ができるようになってきた気がします。

今後も仕事をしていくうえで、幾度も困難に直面することがあると思います。そういった場面を一つ一つ着実に乗り越え、五城目町役場職員の一員として町民の皆様のお役にしっかりと立てるよう、一日も早く成長していきたいです。

## 編集後記

### 「最期まで自宅で」

医療という誰もが、「生を回復するための手段」と考える。しかし、もう一つの役割もある。死に向かう最期のひと時をより充実したものにするためのターミナルケア（終末医療）だ。人生が有限であることを考えると、この分野の医療の重要性は明らかだ。「最期まで自宅で暮らせる町」を実現しようと、東京大学が千葉県柏市などと共同で、在宅医療構築のためのモデル事業を来年度から始めるという。

### 「百聞」より「一見」

尖閣諸島沖で起きた中国漁船衝突事件のビデオ映像は、海上保安官による流出であることが判明した。

映像はテレビで見るとは違って、国家機密などというものではない。「漁船が被害者だ」とする中国側の国内報道に基づいて、中国の反日世論や反日感情が高まっているのであれば、こちらからも正確で説得力のある情報を提示する必要がある。

政府はビデオ映像を一般公開し、事実を内外に向けて発信すべきである。

迎えた新年が町民の皆様にとって一層の飛躍の年となるよう、編集委員一同、ご祈念申し上げます。

館岡 幸雄 記